日本食品工学会 20 周年を迎えて　その 2

山　本　修　一



日本食品工学会は 2000 年 8 月に設立され，本年で 20 年となります．

本号では，20 周年記念特集“その 2”をお届けします．

はじめに，安達修二元会長は，「日本食品工学会設立前の活動と設立後の 10 年」という題目で，本学会が設立に至るまでの，さまざまな経緯（秘話？）を紹介しています．また，現在の学会の基本ポリシーを策定し，安定な運営を可能にした設立後の 10 年の努力についても触れています．

本学会は設立当初から，産業界と学界の積極的な共同活動を重視しており，その目的のためインダストリー委員会が設置されました．年次大会におけるインダストリアルプラザはインダストリー委員会が企画・運営しています．過去 10 年間の年次大会について春季講演会とともに中川学術担当理事がまとめています．

食品工学講習会は，インダストリー委員会が担当しています．その理由について，立ち上げから現在まで担当している古橋委員が，「食品工学講習会の企画・開催・成果について（振り返り）」という題目で，詳細を説明しています．「食品工学講習会」は，産業と学界をつなぐ，双方に重要な事業です．現在，食品工学講習会で使用されている教科書「食品工学」（196 頁）は 10 周年事業として 2012 年に朝倉書店から出版されたものです（ISBN978-4-254-43114-8）．

教科書以外にも食品工学の詳細がわかる便覧が必要であるという意見があり 5 周年事業として 800 頁にわたる「食品工学ハンドブック」が 2006 年に朝倉書店から出版されました（ISBN978-4-254-43091-2）．15 年経過しているので増補・改訂版の出版を 20 周年記念事業として検討しました．その結果，教科書とハンドブックの中間に位置する「食品製造に役立つ食品工学事典」を出版します．この企画・内容について担当した酒井副会長が説明しています．

最後に，日本食品工学会会誌を含む編集関連について私がまとめました．

学会の重要な事業は学会誌と年次大会です．その他に，本学会では，定例事業として春季・秋季講演会と食品工学基礎講習会を開催しています．本年度は，ほとんどが中止あるいはオンライン開催になりましたが，本号で 10 年間の活動をまとめましたので，ぜひご一読ください．

（山口大学　山本修一）

© 2020 Japan Society for Food Engineering